



# 宝城中学校だより

令和6(2024)年9月20日

第11号

校長 小田 哲也

学校教育目標：「集団の力を活かして、よりよい社会の創り手として「自走」できる生徒の育成」

## 1. 色々な体験をして成長の糧に変えるということ

2学期に入ってから大変暑い日が続いていますが、1年生は、9月12日(木)にヒューマン体験学習(大刀洗フィールドワーク)に行きました。

1年生の体験学習をご指導いただいた石川先生と上瀧先生からは、1年生のみなさんの話を聞く姿勢や態度について大変ほめていただきました。その中でも、私の心に残ったのは、フィールドワークの終わりに感想や意見を発表する場面(バスの中での意見交流)のことで「フィールドワークで、しっかりと説明を聞く中で、自分の考えをまとめて発表してくれたこと、内容も大変素晴らしかったです。小学校の時と比べて成長しているなと感じました。」とおっしゃっていたことです。



このことから1年生のみなさんは「やらされている」という気持ちで、この行事に参加しているのではなく、「この行事で、自分を成長させるぞ」という気持ちで参加しているのだと感じて、大変嬉しく思いました。

1学期の終業式で私は、「自分が変われば世界も変わる」という言葉が好きですとお伝えしました。この言葉には、自分の取り組む姿勢(自分の気持ち)次第で、全てのできごとが自分を成長させる糧に変わり、今まで見えていた世界(困難な状況で戸惑う自分)から、違う世界(困難を乗り越えることができる自信のある自分)が見えてくるという意味が含まれています(私の解釈です)。自分の身に起こる全てのできごとは、自分の気持ちの受け止め方次第、自分の行動次第で変わるのです。この気持ちを忘れずに、次のチャレンジをしていきましょう。



※できないと思えば限界の壁ができ、できると思えば可能性の道ができるものです。常に自分を成長させる種を自分の心に持ち、新しいことに挑戦していきましょう。

## 2. 職場体験学習から考える

### (1) 希望とは違う職業から学ぶこと

1年生のヒューマン体験学習と並んで、2年生は、9月12日(木)と13日(金)の2日間、職場体験学習に行ってきました。2年生の学年行事の中では、修学旅行と並び大切な取組だと考えています。この職場体験学習の中には、お世話になっている体験先の事業者さんや担当者様にインタビューをする時間をつくっていただき、「仕事をする」ということについてその方々の「考え」や「思い」に触れる場面があります。

2年生のみなさんはどのような話を聞いて、どのような感想を持ったのでしょうか。

また実際に「仕事」を体験して、今の自分に足りているところ、足りていないこと、向いていること、向いていないこと、大変なところ、楽しいところなどを感じて帰ってきたと思います。

2年生のみなさんが将来希望している職業ではなかったかと思います。自分の希望と違うので、戸惑う部分もあったかもしれません。しかし、そこに自分を成長させる種があったはずで。気づくことが出来たのでしょうか。



※各事業所の紹介写真は次回にも続きます。

### (2) 夢が叶うとは限らない、思うようにいかない人生、それでも続いていく人生

私の話をします。私自身がなぜ仕事をしているのかというと「生活の糧」を得るために「お金」が必要だからです。小学生の時は「ブラックジャック」に憧れて、外科のお医者さんになりたいと思っていましたが、中学生の時は「ソフトテニス部」に所属して、プロのテニスプレイヤーになってウィンブルドンに出場したいと考えていました。

高校生の時は、その時夢中になっていたロックバンドの影響でプロのロックミュージシャンを目指して、バンド活動をしていました。これが一番長く続いて、高校1年生の時から、11年間活動していました。しかし、結婚を機に、バンド活動はやめて、今の仕事に就きました。思ったより「学校の先生」に向いていたのかもしれませんが。

若いときの夢は叶えていないかもしれませんが、「学校の先生」になってからも、毎日楽しく働かせていただいている、幸せだなあと感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、自分の思ったように夢は叶いませんでしたが、夢が叶わなくても続いていくのが人生。生徒諸君、あなたの人生を支えるだけの力を今、蓄えていくときなのです。